

～ 掲 載 内 容 ～

ページ

1 久慈地域の情報

- 土壌診断や簡易土壌分析により適切な施肥を
しましょう！** . . . 1
 - ・農産物の収量増加と品質向上、それに加えて肥料コストの低減の
ために、年に 1 度の土壌診断をおすすめしています。
- 普及現地情報** . . . 3
 - ・牛舎消毒研修会を開催しました！（7 月 3 日）
 - ・久慈地方特産やまぶどうの研修会を開催しました！（8 月 7 日）
 - ・産直スタッフ向け勉強会を開催しました～改正食品衛生法への対応～
（8 月 9 日）

2 お知らせ

- 就農や農業経営の悩みや困りごと ご相談ください** . . . 6
 - ・農業経営や就農について課題があれば、お気軽にご相談ください。
- 秋の農作業安全月間** . . . 8
 - ・普段の作業の安全性をもう一度見直しましょう！
- 農作業中の熱中症を予防しましょう！！（ステッカー添付）** . . . 別添
 - ・まだまだ暑い日は続きます。熱中症には注意しましょう！
- ツキノワグマに注意しましょう** . . . 9
 - ・毎年、農作業中のツキノワグマによる被害が見受けられます。
農作業中は特に注意してください。
- あなたも農薬管理使用アドバイザーになりませんか？** . . . 10
 - ・まとめて学ぶことが少ない農薬について、この機会に正しい知識を
学んでみませんか。
- 農業情報メールサービスの紹介** . . . 11
 - ・岩手県の農作物技術情報や農村地域などの情報を幅広く提供する
メールサービスを行っています。ぜひご活用ください。
- 農薬を正しく使って確かな収穫！** . . . 別添
 - ・農薬を使用する際は、必ず登録があるか確認してから使いましょう！
- 「スマート農業技術導入手引き書」を作成しました！** . . . 別添
 - ・スマート農業技術に興味がある方はぜひご確認ください。

肥料高騰対策に！

肥料の過剰施用による生育不良対策に！

土壌診断や簡易土壌分析により適切な施肥をしましょう！

土壌診断や簡易土壌分析結果により減肥を検討してみましょう。

○ 昨年の土壌診断や簡易土壌分析の結果がある場合

⇒ その分析結果をもとに、来年の施肥設計をしましょう。

⇒ 普及員が施肥についてアドバイスします。

○ 昨年の土壌診断や簡易土壌分析の結果がない場合

⇒ これから、土壌診断や簡易土壌分析を行いましょう。

○ 土壌診断と簡易土壌分析の実施内容の違い

土壌診断… 8項目を分析した結果から**処方箋**が示されるが、結果がわかるのは来年（令和7年）

⇒ こちらを実施する場合、**J A**へ連絡

簡易土壌分析… 2項目を分析した結果から、リン酸、カリの養分蓄積の程度が分析当日にわかる。

ただしこれだけでは、処方箋は示されない。

⇒ こちらを実施する場合、**普及センター**へ連絡

表 土壌診断と簡易土壌分析の比較

	土壌サンプルの受付場所	分析者	分析項目	結果の返却 予定
土壌診断 (2ページを参照)	J A	全農いわて	8項目 CEC、pH、EC、硝酸態窒素、石灰、苦土、リン酸、カリ	令和7年 2～3月
簡易土壌分析	普及センター	農家自身	2項目 〔リン酸、カリ〕	当日

土壌診断と簡易土壌分析の違いを踏まえて、実施してください！

土 壤 診 断

の御案内

受付
締切

第一回目 令和6年9月27日(金)

第二回目 令和6年10月18日(金)

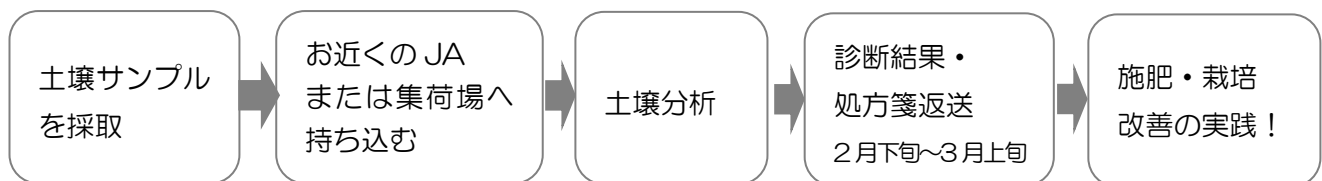
土壌診断結果は、令和7年の施肥設計等に活用できます。農産物の収量増加と品質向上、それに加えて肥料コストの低減のために、年に1度の土壌診断をおすすめしています。

こんなお悩みありませんか？

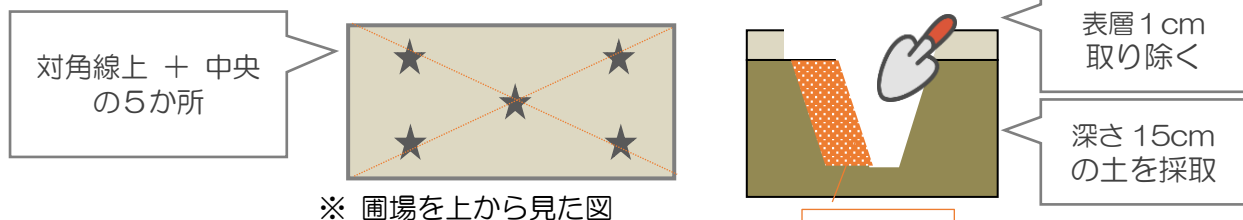
- ☑ 収量が安定して取れない。
- ☑ 病気や生育障害のような被害が続いている。
- ☑ 次の作付前にどのくらい肥料を入れればいいか？
- ☑ 肥料価格が高い。どうにかコストを抑えられないか？



【土壌診断の流れ】



【土壌サンプル採取方法】



- 1 ほ場の5か所(上図)から土壌を採取し、良く混ぜる
※ハウス内で生育が大きく異なる場合は区別して採取する
- 2 日陰で十分に乾燥させ、ふるいにかける(2mm程度)
- 3 100gを透明な袋に入れ、油性マジックで必要事項を記入
※結び目にかからないように!

【袋に書く必要事項】

- | | |
|-----------|-----------------|
| ・住所(大字まで) | ・作付作目 |
| ・氏名 | ・たい肥入れる 前/後 |
| ・ハウス番号 | ・ハウスビニル はぐ/はがない |

久慈市十八日町
久慈 太郎
ハウス③
ほうれんそう
たい肥入れる 前
ビニル はぐ

お問い合わせ：JA 新いわて久慈営農経済センター (0194-52-1318)

久慈農業改良普及センター (0194-66-9683)

牛舎消毒研修会を開催しました！

和牛繁殖経営における家畜の疾病リスク低減を目的に、石灰塗布による牛舎消毒研修会を開催し、いわてくじ和牛改良組合青年部の生産者など10名が参加しました。

石灰塗布は、専用の動力噴霧器を使用する方法か、刷毛による手塗りで行われてきましたが、今回は簡便かつ省力的な方法として、塗装用スプレーガンを使用する方法を紹介しました。

県北家畜保健衛生所及び普及センターが講師となり、消毒資材の違いによる消毒効果の違いや、石灰消毒の手順等を紹介した後、実際に消毒作業を体験していただきました。

作業終了後は、消毒方法や家畜の疾病等についての質疑が行われ、生産者からは「踏み込み消毒は何が良いか」「薄く塗っても効果はあるのか」といった質問のほか、「スプレー塗布なら楽で良い」といった感想も聞かれました。

本研修の開催場所となった生産者からは、「牛舎が明るくなった」「他の牛舎でも実施したい」という反応があり、消毒だけではない効果も実感していただきました。

放牧等で牛舎を空けやすい今の季節のうちに、衛生管理や5Sをしっかり行っていききたいですね。



石灰塗布の様子



作業終了後の様子

久慈地方特産やまぶどうの研修会を開催しました！

久慈地方ヤマブドウ振興協議会（会員 10 名）では、栽培技術の向上と生産者の相互交流、やまぶどうの生産振興を図るため、現地研修会（年 4 回）を開催しています。

第 2 回の今回は、7 月 31 日に野田村の現地ほ場で行われ、生産者や関係者 10 名が参加しました。

研修会では、普及センターから、今年はやまぶどうの結実状況や、今後の気象経過に応じた栽培管理について、特に今年は昨年同様に高温で推移し、過去一番早い開花期となっていることや、梅雨期のべと病などの病害に注意するよう説明しました。

参加者からは、「（果実の黒点症状を見せながら）この病害は何か」、「紋羽病が発生しているが、防除方法は？」など質問が出され、情報交換が活発に行われました。

研修会終了後は、参加者が自由にほ場を見学し、栽培管理のノウハウを共有した様子でした。



研修会の様子



結実したやまぶどう

普及現地情報
令和6年8月9日
久慈農業改良普及センター
記述者 藤尾 あゆみ

産直スタッフ向け勉強会を開催しました ～改正食品衛生法への対応～

改正食品衛生法に関する産直スタッフの実務能力向上と課題の共有を目的に8月7日標記勉強会を開催し、久慈地域の10産直からスタッフ19名が参加しました。

勉強会では、久慈保健所職員を講師に、改正食品衛生法や食品表示について、概要はもちろん、問合せの多い営業許可や届出の事例、食品表示作成の流れや間違いが多いポイントなど、実践的な内容を講義いただきました。また、今回は事前に質問を受け付けし講師から解説いただき、「よくある質問」を共有しました。

参加者は、終了後も講師に質問するなど、この機に日頃の疑問を解決しようとしているようでした。また、「同じ悩みを抱えているんだなと思った」「また参加したい」との声も聞かれました。主催側にとっても大変勉強になりました。

今後も巡回等現場で出た声をしっかり受け止め、課題や疑問を一つずつ着実に解決していくよう、よりよい産直運営の実現に向けて支援していきます。



事前に受付けた質問に講師が回答、参加者がさらに質問し理解を深めました

就農^や農業経営^の

悩み^や困りごと

ご相談ください。

新規就農

税務・財務

経営改善

農業参入

法人化

雇用・労務

経営継承

規模拡大

販路開拓

ご相談は岩手県農業経営・就農支援センターへ

就農や農業経営に関する相談を
課題解決に向けて無料でサポートします！

こんな専門家がいます

税理士・社会保険労務士・中小企業診断士・
司法書士・農業経営者・農業経営アドバイザー など

支援の流れ

まずはお電話又はメール
でご連絡ください



農業者

窓口相談

就農に関する相談や支援情報、農業経営に関する相談などを専属スタッフが無料で相談対応しています。

相談内容をもとに、支援方法や派遣する専門家を決定します。

お悩みや課題が解決
するまでサポート
します！



専門家派遣

経営課題に応じた支援チーム（税理士、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門家）を派遣して、無料で農業者の皆様の課題解決を支援します。

課題も解決したし、
相談してよかった！



よくある質問

Q.農業経営・就農支援センターとは、何ですか。

A. 就農希望者や農業者の確保・育成を図るため、都道府県が法令に基づいて整備している組織で、就農相談や農業経営の改善などの支援を行っています。

Q.相談に行くときに必要なものはありますか。

A. 必ずお持ちいただく必要があるものはございません。農業経営の相談であれば、経営状況が分かる資料をお持ちいただくと相談対応がスムーズです。

Q.窓口相談は予約する必要がありますか。

A. 原則として、事前にお電話にてご予約下さい。

専門家派遣を受けるためには、
農業経営・就農支援センターへの
登録が必要です。

■ 経営相談

いわて農業経営相談センター

【住所】盛岡市大通一丁目2-1 岩手県産業会館5階 JA岩手県中央会
【TEL】019-626-8516

■ 就農相談

いわて就農相談窓口

【住所】盛岡市神明町7-5 パルソビル3階 公益社団法人 岩手県農業公社
【TEL】019-651-2262

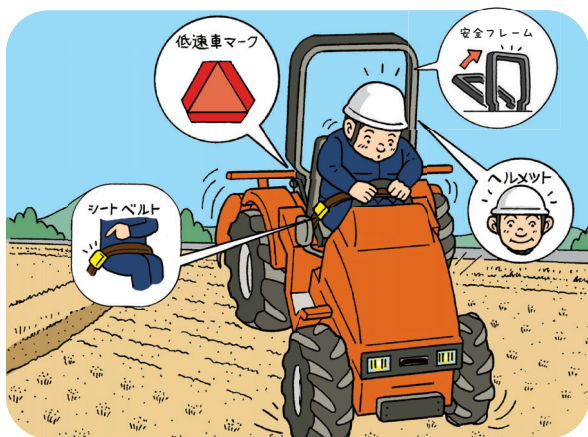
■ 経営・就農相談(サテライト窓口)

◎盛岡農業改良普及センター	【TEL】019-629-6726
◎八幡平農業改良普及センター	【TEL】0195-75-2233
◎中部農業改良普及センター	【TEL】0197-68-4464
◎奥州農業改良普及センター	【TEL】0197-35-6741
◎一関農業改良普及センター	【TEL】0191-52-4961
◎大船渡農業改良普及センター	【TEL】0192-27-9918
◎宮古農業改良普及センター	【TEL】0193-64-2220
◎久慈農業改良普及センター	【TEL】0194-53-4989
◎二戸農業改良普及センター	【TEL】0195-23-9208

※いずれのご相談も、お越しの際は事前にお電話にてご連絡ください。



ひと休み 急がば回れ 農作業 ゆとり忘れず 安全管理



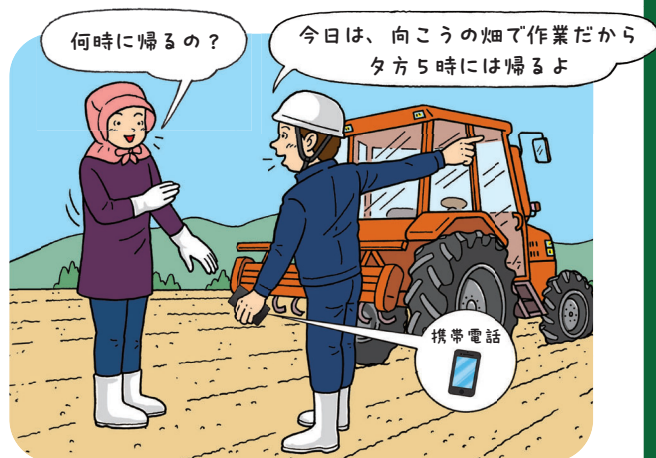
**トラクターに安全フレーム装着！
運転者はシートベルト着用！**



**水分、塩分補給など熱中症対策
を十分に！**



**強風・乾燥時は野焼きをしない！
作業は、準備と注意をしっかり！**



**家族に作業場所と帰宅時刻を知らせよう！
携帯電話を携帯しよう！**

農業者の方も労災保険に特別加入できます。
万が一の事故の際に確実な補償を受けられるように検討しましょう。



春の農作業安全月間 4月15日(月)～6月15日(土)
秋の農作業安全月間 9月15日(日)～11月15日(金)



キケン注意



農作業中は特に注意してください

毎年、農作業中のツキノワグマによる被害が見受けられます。

農作業は外での作業のため、ツキノワグマと出会う機会が多くなります。
農作業中にはラジオを携帯し、人間がいることをクマに知らせることにより、クマと出会う機会を少なくできます。
また、山や住宅周辺に**クマのエサ**になるものを**捨てない**よう注意してください。



「なぜこんなところに？」と思われるような場所で出会うことがあるかもしれません。イヌが警戒している等、いつもと様子が異なる時は十分に気をつけましょう。



生ゴミや廃棄農作物は、クマにとってとても魅力的な食べ物です。地中深くに埋める等、適切に処理しましょう。



クマはからだを隠しながら移動します。やぶや茂みを減らすことは一つのクマ対策です。



あなたの畑にクマがひそんでいるかもしれません。作業前には十分に確認しましょう。



あなたも 農薬管理使用アドバイザー になりませんか？



岩手県では、農薬の安全で適正な使用を普及・推進するため、農薬を取り巻く状況や法律上の扱い等の基本的な知識を、販売者や使用者に周知する機会を提供し、農薬の安全使用・適正管理に関して一定の知識を有する方を「岩手県農薬管理使用アドバイザー」として認定しています。

農薬に関する様々な専門分野について、この機会に正しい知識を学び、あなたも「農薬管理使用アドバイザー」として、地域の人や農薬を購入する人に対して正しく安全な使用方法を広めませんか。

★どのような人がなれますか？



県内に勤務または居住する満 18 歳以上の方を対象とします。

これまで、農薬販売者、JA・NOSAI・ゴルフ場・産直組合等の関係者、防除業者、農業者など、農薬の使用に関わる様々な分野の方を認定しています。

★どうすれば認定されますか？



養成研修受講後の試験で70点以上(100点満点)取得した方が認定されます。なお、薬剤師や防除指導員、農薬安全コンサルタント等の有資格者は試験免除となります。認定期間は、研修受講年度の翌年度の4月1日から3年間となります。

【岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修会の開催概要】

例年、以下のような内容で開催しています。

1 開催日時・場所（例年）

(1) 開催日：1月中～下旬頃

時 間：研修 9:30～15:40、認定試験 15:50～16:50

※研修受講後に認定試験が行われます。

(2) 場 所：県央部1ヶ所、県南部1ヶ所

2 お申込みについて

受講には事前申し込みが必要です。例年、9月下旬頃に県庁ホームページに受講案内を掲載しますので、申込書等を入手してお申し込みください。（例年の申し込み締め切りは11月末頃です。）。なお、認定要領や過去の試験問題は県庁のホームページから入手できます。

※ 岩手県HP > 産業・雇用 > 農業 > 農業技術情報 > 農薬及び肥料 > 岩手県農薬管理使用アドバイザーについて と進んでください。

（問い合わせ先）岩手県庁 農林水産部 農業普及技術課
〒020-8570 盛岡市内丸10-1 電話：019-629-5656

電子メールを活用した農業情報のサービスを行っています

久慈農業改良普及センターでは、農作物技術情報、台風や気象災害などへの注意情報、病害虫に関する情報、スマート農業に関する情報などをタイムリーに入手することに役立つメール配信をしています。

ご自身のメールから ce0026@pref.iwate.jp (普及センター組織アドレス) まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ、いつでも登録できます。登録すれば久慈農業改良普及センター(地域 ML)からだけでなく、県(県 ML)からも情報が配信されます。

【QRコードからも申込みできます】

これまでに県から配信した内容は、次のような内容です。

- ・農作物技術情報(毎月、号外あり)
- ・農作物病害虫発生予察情報
- ・病害虫防除速報(水稻、野菜、果樹、花きなど)
- ・産地情報「産地紹介・人物紹介」(毎月)
- ・県からのお知らせ(イベント案内、研修会案内など)



今後も随時、情報発信していきますので、ぜひご利用ください。

～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【4～8月分の掲載記事】

○産地紹介:《久慈》産地情報『新規品目の導入による久慈地域野菜産地の新たな取組』

《宮古》産地記事『岩泉町 日本における酪農生産の普及に重要な役割を果たす』

《八幡平》販売額 20 億円の産地を目指して

《中部》見て！来て！選べて楽しい！街道沿いの産地直売所～北上産地直売所あぜみち(北上市)～

《大船渡》三陸沿岸道路を使う際は是非とも来ておでんせ～大槌町農水産業復興の拠点 母ちゃんハウスだあすこ沿岸店～

○人物紹介:《一関》地域に助けられながら、家業の花き栽培を守る～佐藤賢一さん～

《盛岡》人物紹介「滝沢市 工藤光さん～野菜の安定供給を目指して～」

《二戸》自分なりの果菜生産で利益確保の実現を！工藤正利(くどうまさとし)さん

《奥州》人物紹介『伊藤美彩希さん』

《久慈》人物紹介『新山麗佳さん』



○『普及活動年報』県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

